

作成日 2022 年 5 月 30 日  
改訂日 年 月 日

## 安全データシート(SDS)

## 1. 製品及び会社情報

製品名 : **ベンリダイン WPプライマー (BB-613)**  
販売会社名 : 株式会社 サンゲツ  
住 所 : 愛知県名古屋市西区幅下 1-4-1  
TEL : 052-564-3311  
FAX : 052-564-3366  
担当部門 : インテリア事業本部 品質管理技術室  
緊急連絡電話番号 : 同上  
推奨用途 : 接着用途

## 2. 危険有害性の要約

## GHS 分類

物理化学的危険性 : 引火性液体 区分 2  
健康に対する有害性 : 急性毒性(吸入-蒸気) 区分 4  
急性毒性(吸入-粉じん及びミスト) 区分 4  
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2B  
呼吸器感作性 区分 1  
皮膚感作性 区分 1  
生殖毒性 区分 2  
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分 2(腎臓)  
誤えん有害性 区分 1

環境に対する有害性 : 水生環境有害性 短期(急性) 区分 2  
水生環境有害性 長期(慢性) 区分 2  
※記載がないものは区分に該当しない、もしくは分類できない。

## GHS ラベル要素

## 絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険  
危険有害性情報 : 引火性の高い液体及び蒸気  
吸入すると有害  
眼刺激  
吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ  
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い  
長期にわたる、または反復ばく露による臓器（腎臓）の障害のおそれ  
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ  
水生生物に毒性  
長期継続的影響によって水生生物に有害

## 注意書き

## 安全対策

: 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。  
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。- 禁煙。  
防爆型の電気機器、局所排気装置を使用し、粉じん、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。  
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。  
使用設備の密閉化、回収装置の設置が望ましい。

- 容器は丁寧に扱い、内容物をこぼさないこと。  
 取扱い後はよく手を洗うこと。口をすすぐこと。  
 環境への放出を避けること。
- 応急措置** : 火災の場合：安全第一で、炭酸ガス、泡または粉末消火器を使用すること。  
 物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。漏出物を回収すること。  
 汚染された衣類を直ちに脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。  
 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断を受けること。  
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。直ちに医師の診断を受けること。  
 吸入した場合：気分が悪い時は、医師の診断を受けること。  
 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
- 保管** : 容器を密閉しておくこと。日光から遮断すること。換気の良い場所で保管すること。(5～35℃)  
 湿気を遮断すること。水と接触させないこと。  
 子供の手の届かないところに置くこと。
- 廃棄** : 容器は、中身をすべて使い切ってから廃棄すること。  
 内容物や容器を、許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し廃棄すること。
- ※接着用途以外には絶対使用しないこと。

### 3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別 : 混合物  
 化学名又は一般名 : ウレタン樹脂系接着剤  
 成分及び含有量

成分	含有量(%)	官報公示整理番号 化審法	PRTR法	安衛法	CAS.No.
ポリウレタン樹脂	30～40	—	非該当	非該当	—
4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート(MDI)	0.1～2.0	4-118	1.0%(第1種)	該当	101-68-8
炭酸ジメチル(DMC)	50～60	2-2853	非該当	非該当	616-38-6
メチルシクロヘキササン(MCH)	5～15	3-2230	非該当	該当	108-87-2

含有量は参考値

### 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所へ移動して寝かせる。頭痛等の異常がある場合は、速やかに医師の診断を受ける。  
 皮膚(又は髪)に付着した場合 : すぐに拭き取り、石鹼水及び水で洗い流す。炎症等が出た場合は、速やかに医師の診断を受ける。  
 眼に入った場合 : 流水にて最低 15 分間洗眼した後、異常のある場合は直ちに眼科医の診断を受ける。  
 飲み込んだ場合 : 多量の水を飲ませ吐き出させ、直ちに医師の診断を受ける。他人が無理に吐かせてはいけない。
- 急性症状及び遅発性症状の  
 最も重要な聴講症状 : 喘息様発作、めまい、頭痛、吐き気、肝障害

### 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 小火災－粉末、二酸化炭素、泡、乾燥砂  
 大火災－散水、噴霧水、一般の泡消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 棒状注水
- 火災時の特有の危険有害性  
 特有の消火方法 : 火災によって刺激性、毒性のガスを発生する恐れがある。引火性の高い液体及び蒸気。  
 付近の着火源を断つ。  
 危険でなければ火災区域から容器を移動する。  
 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。

- 消火活動をする者の保護
- : 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
  - : 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。風上から消火する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項  
保護具及び緊急時措置
- : 関係者以外の立入りを禁止する。
  - : 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
  - : 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
  - : 漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。風上に留まる。
  - : 低地から離れる。
  - : 密閉された場所に入る前に換気する。
- 環境に対する注意事項
- : 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を避ける。
  - : 河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
- 回収、中和
- : 少量の場合は、紙や布で拭き取り「13. 廃棄上の注意」従って廃棄する。
  - : 大量の場合は、開放した容器に出来る限り集め、残留物を土砂、ケイソウ土、おが屑など不活性吸収剤に吸着させる。(回収した容器は密封しないようにする)回収できなかった物は中和剤を散布して中和する。
  - : 中和剤の例：水／濃アンモニア水／液体洗剤の混合液
- 封じ込め及び浄化の方法  
及び機材
- : 危険でなければ漏れを止める。
  - : 漏出物を取り扱う時に用いる全ての設備は接地する。
- 二次災害の防止策
- : 全ての着火源を速やかに取り除く。(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)
  - : 蒸気発生が多い場合は、噴霧注水により蒸気発生を抑制する。
  - : 関係箇所に通報し応援を求める。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策
- : 防爆の電気、換気、照明器具及び防爆用工具のみを使用し、静電気放電に対する予防措置を講ずること。
  - : 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。－禁煙。
  - : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
  - : 静電気対策のために、装置、機器などの設置を確実にを行う。
- 局所排気・全体換気
- : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
  - : 液の漏洩や蒸気の発散を極力防止する。
- 安全取扱注意事項
- : 眼への刺激性があるので眼に触れないようにする。
  - : 眠気又はめまい、呼吸器の刺激、器官の損傷の恐れがあるので、本製品に接触、吸入、飲み込みをしてはならない。
  - : 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の取扱いをしてはならない。
  - : 取扱い後はよく手を洗うこと。
  - : 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
- 接触回避
- : 「10. 安定性及び反応性」を参照。
  - : 本製品(イソシアネート類)と反応する水等の物質との接触には充分注意する。
- 衛生対策
- : 保護具は保護具点検表により定期的に点検する。
  - : 取扱い後はよく手を洗うこと。
- 保管
- 安全な保管条件
- : 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。－禁煙。
  - : 容器を密閉して、冷暗所、換気の良い所で貯蔵すること。
  - : 水分と反応しますので、雨水や湿気、水分を避けること。
  - : 酸化剤から離して保管する。
  - : 保管場所は、耐火構造、床は不浸透性のものとし、地下への浸透、外部への流出を防止する。
  - : 指定数量以上の危険物は、貯蔵所以外の場所でこれを貯蔵してはならない。
  - : 施錠して貯蔵すること。
- 混触危険物質  
安全な容器包装材料
- : 「10. 安定性及び反応性」を参照。
  - : 消防法で規定されている容器を使用する。

鋼、ステンレス鋼及びアルミニウムは容器として耐久性がある。  
 種々なプラスチックを侵すので使用を避ける。  
 国連容器等級Ⅱ

その他 : 消防法、労働安全衛生法等の法令に定めるところに従う。

## 8. ばく露防止及び保護措置

成分	管理濃度 (労働省告示第79号)	許容濃度 (日本産業衛生学会：2020年)	許容濃度 (ACGIH)
MDI	未設定	— (0.05mg/m <sup>3</sup> )	(2019年) 0.005ppm (TWA)
MCH	未設定	400ppm (1,600mg/m <sup>3</sup> )	(2019年) 400ppm (TWA)

**設備対策** : 蒸気、ミストが発生する場合には、局所排気装置などの換気のための装置を設置することが望ましい。  
 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

### 保護具

**呼吸用保護具** : 有機ガス用防毒マスクを着用する。  
**手の保護具** : PE、ゴム製等の不透湿性の保護手袋を着用する。  
**眼、顔面の保護具** : 側板付普通眼鏡又はゴーグル型保護眼鏡を着用する。  
**皮膚及び身体の保護具** : 不浸透性の長袖作業衣、安全靴を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

**物理状態** : 液体  
**色** : 淡黄色  
**臭い** : 有機溶剤臭  
**融点/凝固点** : データなし  
**沸点又は初留点及び沸点範囲** : 90～101℃  
**可燃性** : 引火性  
**爆発下限及び爆発上限界** : 下限：1.2%、上限：12.9%  
**可燃限界**  
**引火点** : -4.0℃  
**自然発火点** : 245℃  
**分解温度** : データなし  
**pH** : データなし  
**粘度** : データなし(粘性率：約 20mPa・s/25℃)  
**蒸気圧** : 知見なし  
**密度及び/又は相対密度** : 約 1.05  
**相対ガス密度** : 空気より大  
**粒子特性** : 該当せず(液体)  
**その他のデータ** : データなし

## 10. 安定性及び反応性

**反応性** : 情報なし  
**化学的安定性** : 常温で暗所に貯蔵・保管された場合、安定である。  
**危険有害反応可能性** : 活性水素化合物(水、アルコール、アミン等)と発熱を伴い激しく反応し、圧力上昇による爆発の危険をもたらす。  
**避けるべき条件** : 活性水素基をもつ物質(水等)と発熱反応し、二酸化炭素を発生する。  
**混触危険物質** : 活性水素基をもつ物質(水、水分、アルコール、アルカリ物質、アミン等)  
**危険有害な分解生成物** : 混合物としての知見なし。

## 11. 有害性情報

### 急性毒性(50%致死量等を含む)

成分	LD <sub>50</sub> (経口)ラット	LD <sub>50</sub> (経皮)ウサギ	LC <sub>50</sub> (吸入)ラット	(吸入) マウス
MDI	> 5,000mg/kg	> 5,000mg/kg	0.49mg/L (4hr) 区分4	—
MCH	> 3,200mg/kg	—	—	10,000-12,500ppm (2hr) 区分4

<b>皮膚腐食性/皮膚刺激性</b>	: 動物、ヒト：僅かな刺激性～厳しい刺激性 区分 2(MDI) ウサギ：浮腫は観られず、適用 24 時間後にごく軽度の紅斑が観られたが回復した。(MCH)
<b>眼に対する重篤な損傷性 /眼刺激性</b>	: 動物、ヒト：僅かな刺激性 区分 2B (MDI) ウサギ：適用 1 及び 24 時間後に結膜発赤がみられたが、48 時間後には回復した 区分 2B(MCH)
<b>呼吸器感作性</b>	: 動物、ヒト：感作性あり 区分 1(MDI)
<b>皮膚感作性</b>	: 動物、ヒト：感作性あり 区分 1(MDI)
<b>生殖細胞変異原性</b>	: 混合物としての知見なし。
<b>発がん性</b>	: IARC:グループ 3 区分に該当しない。(MDI)
<b>生殖毒性</b>	: 区分に該当しない。(MDI)
<b>特定標的臓器毒性 (単回ばく露)</b>	: 区分 3 (気道刺激性) (MDI) 区分 3 (麻酔作用、気道刺激性) (MCH)
<b>特定標的臓器毒性 (反復ばく露)</b>	: 区分 2 (腎臓) (MCH)
<b>誤えん有害性</b>	: 区分 1(MCH)

## 12. 環境影響情報

<b>生態毒性</b>	: 混合物としての知見なし。
<b>残留性・分解性</b>	: 混合物としての知見なし。
<b>生体蓄積性</b>	: 混合物としての知見なし。
<b>土壌中の移動性</b>	: 混合物としての知見なし。
<b>オゾン層への有害性</b>	: 混合物としての知見なし。
<b>水生環境有害性短期(急性)</b>	: 魚、無脊椎動物及び藻類 LC <sub>50</sub> >1,000mg/L 区分に該当しない。(MDI) 甲殻類 (オオミジンコ) 48 時間 EC <sub>50</sub> =0.33mg/L 区分 1(MCH)
<b>水生環境有害性長期(慢性)</b>	: NOEC>1,640mg/L 区分に該当しない。(MDI) 慢性毒性データを用いた場合、急速分解性—ない(BODによる分解度：0%)、藻類 (セテナストラム) の 72 時間 NOEC (r) =0.067 mg/L 区分 1(MCH)

## 13. 廃棄上の注意

産業廃棄物（廃油と廃プラスチック類の混合物）として、許可を受けた専門業者に委託する。乾燥し固形状になったものは、廃プラスチック類として同様に処理する。

廃棄の際は危険性情報の反応性をふまえて処理を行うこと。

空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後、リサイクル又は処分する。

## 14. 輸送上の注意

「取扱い及び保管上の注意」の項の記載による他、化学物質に関する一般的注意による。

国連番号	: UN1133
品名(国連輸送名)	: 接着剤
国連分類	: クラス 3(引火性液体類)
容器等級	: II
海洋汚染物質	: 該当

---

## 15. 適用法令

労働安全衛生法	: 危険物：引火性 表示対象物質(第 57 条 施行令第 18 条)…該当(MDI、MCH) 通知対象物質(第 57 条の 2 施行令第 18 条の 2) …該当(MDI、MCH)
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	: 第 1 種指定化学物質(MDI 448)
毒物及び劇物取締法	: 非該当
消防法	: 危険物第 4 類第 1 石油類非水溶性(危険等級 II)
危険物船舶運送及び貯蔵規則	: 引火性液体類
廃棄物処理と清掃に関する法律	: 産業廃棄物（廃油）

---

## 16. その他の情報

当製品は、アスベスト及び厚生労働省の指定する化学物質(13 物質)を含んでおりません。

参考資料	: JIS Z7253-2019
	: JIS Z7252-2019
	: 化学物質の危険、有害便覧（中央労働災害防止協会編）
	: GHS 分類結果データベース（独立行政法人製品評価技術基盤機構-NITE）
	: 危険物船舶運送及び貯蔵規則

記載内容は現時点で入手できる資料及び試験に基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。全ての化学物質は未知の有害性がありえるため、取扱いには十分注意する必要があります。記載内容は安全性に関する情報提供であって、製品の保証書ではありません。

注意事項は通常の実取扱いを対象としたもので、特別な取扱いをする場合は用途、使用方法に適した安全対策を行い、ご使用ください。